



第15号 (2011年) 平成23年1月  
 発行・編集/改革・緑新  
 長野県庁県議会棟内(026)232-0087  
 発行責任者 倉田 竜彦 印刷所 中外印刷KK  
<http://www.kaikaku-ryokushin.com>

# 阿部県政が本格始動。 信州型事業仕分けなど活発に論戦

11月25日開会した定例県議会は、12月10日閉会しました。提案された議案は、158億5400万円の本年度一般会計補正予算案はじめ県側提出の計32件の議案を原案通り可決しました。この補正予算案のうち、新たな県中期総合五カ年計画や信州型事業仕分け、信州経済戦略会議の設置について激しい論戦が繰り広げられました。

「阿部カラー」として知事は、県中期総合五カ年計画を1年前倒しして見直し、新たな総合五カ年計画の策定に着手する考えを示すとともに、活力ある長野県経済の確立を目指して官民一体で議論する「信州経済戦略会議」の設置、「信州型事業仕分け」を来年1月に先行実施するための補正予算を提案しました。さらに知事部局に来年度子どもや若者に関する施策の総合的な推進と教育委員会との提携・調整を図る組織「次世代サポート課(仮称)」を設置することについて提案され、これらめぐり活発に議論しました。改革・緑新は、県民世論を最大限尊重する立場から今県議会で臨みました。ことに、信州型事業仕分けの実施を巡っての議論は難航を極めました。実施することを決めました。

## 来年度予算編成や当面の県政課題に関し知事に提言

11月26日、来年度予算への要望や、当面する県政課題について、阿部知事に対し会派として提言を行いました。内容は、県政全般に関する基本的事項29項目と各部局への要望179項目です。これに対し、阿部知事からは次のとおり示されました。

また、今県議会において特徴的であったのは、農業団体はじめ工業界からも慎重論や反対の声も挙がっているTPPについて、我々改革・緑新のみならず多くの議員から県当局の見解や対応を質す質疑がなされました。11月26日、来年度予算への要望や、当面する県政課題について、阿部知事に対し会派として提言を行いました。内容は、県政全般に関する基本的事項29項目と各部局への要望179項目です。これに対し、阿部知事からは次のとおり示されました。

### 代表年頭「あつらひ」 長野県議会 改革・緑新代表 倉田 竜彦



県議会「改革・緑新」を代表して年頭のごあいさつを申し上げます。昨年は、参議院選挙、知事選挙と選挙の年でありました。とりわけ八月八日執行の県知事選挙においては、民主党、社民党、国民新党の推薦を受けた阿部守一氏が五、〇二二票差という僅差ではありますが、県民の負託を受けて知事に就任いたしました。

阿部知事が進める「県民主権」の実施や県民の確かな暮らしを守る県政運営の基本は、我が会派の考え方と一致しており、私達は是非々々の立場を堅持しながら九月議会、十一月議会において政策提言をしてきたところです。また、十一月議会を焦点とした信州型事業仕分けについては、開かれた県政推進の立場から支持してきました。本年は、先の見えない経済情勢の中、格差の拡大に歯止めをかけ、県民の皆様が明るい展望を持てる年とするため、阿部力ラーが出る平成二十三年度当初予算に県民の意向が反映できるよう引き続き政策提言を行ってまいります。本年は、県会議員の改選期となりますが、会派一同「開かれた県議会」を目指して決意を新たに頑張ります。どうぞ、本年もあたたかいご理解と御支援を切にお願い申し上げます。



▲倉田代表から阿部知事へ提言書を提出

ました。「信州経済戦略会議」には「労働界からの委員も加えたい」。「中期総合計画」については「次のステップに向けて対応したい」。中南信地区へのドクターヘリの配置は「出来るだけ早急に対応したい」。リニア中央新幹線整備に伴う県内の振興策については「地域の公共交通を協議する場を作るよう国に要請した」。並行在来線存続への国の支援策については「菅総理に財政措置を要請した」。「地域公共交通活性化・再生総合事業」については、「予算が充分確保されるよう、国に要請している」。新年度設置予定の「次世代サポート課(仮称)」の運営については「教育委員会と充分な連携を図りたい」。この提案書の実現に向けて、11月議会での一般質問や委員会審議に積極的に取り組みました。

## 今年も『開かれた県政』を目指して取り組みます(所属議員一覧)

- |                                |  |                                      |   |  |                                     |
|--------------------------------|--|--------------------------------------|---|--|-------------------------------------|
|                                |  |                                      |   |  |                                     |
| 野澤 徹司<br>文教企業委員会<br>(岡谷市・下諏訪町) | 竹内 久幸<br>健康福祉委員会<br>公共交通対策特別委員会<br>(長野市) | 下村 恭<br>農政林務委員会<br>監査委員<br>(上田市・小県郡) | 森田 恒雄<br>総務企画警察委員会<br>(下伊那郡)                | 寺島 義幸<br>議長<br>(佐久市・北佐久郡)                  | 倉田 竜彦<br>総務企画警察委員会<br>(長野市)         |
|                                |  |                                      |   |  |                                     |
| 吉川 彰一<br>健康福祉委員会<br>(下伊那郡)     | 甕 裕一<br>環境商工観光委員会<br>(安曇野市)              | 倉野 立人<br>農政林務委員会<br>(長野市)            | 下沢 順一郎<br>危機管理建設委員会<br>公共交通対策特別委員会<br>(松本市) | 小島 康晴<br>環境商工観光委員会<br>公共交通対策特別委員会<br>(飯田市) | 松山 孝志<br>危機管理建設委員会<br>(茅野市・富士見町・原村) |

15  
回  
目  
の  
一  
般  
質  
問



## あけまして おめでとろございます。

本年も「県民の生活が第一」を基本に、政務調査活動に誠心誠意取り組みます。お気軽にご意見・ご要望等お寄せくださるようお願いいたします。

# 小島康晴の 県政レポート

VOL 15

飯田市高羽町3-1-7

TEL・FAX (0265) 23-5388



11月県議会

議会が全会一致で議決した現行中期総合計画  
見直しには相応の準備と手続きを

一般質問

県政報告第15号をお届けします。今回の補正予算に、新たな総合5  
カ年計画の策定に着手するための費用が盛り込まれました。「計画行政」  
のあり方への私の思いも含め、拙速を避け、25年度から始まる総合計  
画を堂々と策定するよう知事に求め、少しあつく論戦しました。

### 総合計画の1年 前倒しについて

【小島議員】「1年前倒し」することは、いわゆる「基本計画の議決条例」第2条の「変更」になるのではないかと。

【企画部長】24年度から始まる新しい5カ年計画の「策定」とこれに伴う現行計画の「廃止」を来年度議会に諮る。

【小島議員】「1年前倒し」の予算ならば、今議会で変更の議決しなければ条例無視、議会軽視と言わざるを得ない。

\*この問題は、総務委員会の論議に引き継がれ、「1年前倒し」を前提にしないで検討を始めることで「議決条例」との折り合いがつけられました。

【小島議員】田中元知事時代の長期構想「未来への提言」の扱いはどうするか？

【阿部知事】長期的に実現を目指す本県の姿を新たな総合計画の中に含め、「未来への提言」は廃止する。

### 新たな総合計画 と県土の均衡ある 発展について

【小島議員】どのように配慮するか？

【阿部知事】どの地域にあっても行政サービスを偏りなく提供し、県民が安心して暮らせる長野県を築きたい。

### 事務事業評価と 事業仕分け

### 職員人事 について

【小島議員】事務事業評価には相当な労力が費やされている。事業仕分けの対象を事務事業評価から選定するというのであるから、知事もすべてとは言わないが事務事業評価シートに目を通すべきである。

【総務部長】職員の人事異動については、係長級以上は2〜3年以上、その他は3〜4年以上在籍したものを対象としている。

【小島議員】職員の人事のローテーションが早すぎるとはならないか？

### 決算が大事

9月議会から11月議会の間に決算特別委員会の決算審査を行いました。今年度は、上伊那、松本、佐久および上田の現地機関と本庁全部署を2班体制で審査しました。

### 「満蒙開拓」で 知事に要請

12月9日、長野県議会「満蒙開拓平和記念館」建設促進議員連盟と地元準備会の連名で、阿部知事に対し要請書を提出しました。要望内容は、県としての財政支援と史実の記録・保存への取り組み強化です。



札幌駅構内のどさんこプラザ



ビルの地下でレタス栽培

北海道から横浜へ  
環境商工観光委員会では、担当分野の参考にするため、北大の産学官の連携事業、日産横浜工場



の環境対策と産業観光の取組、東京事務所活動など、多岐にわたり視察・調査しました。



\*各常任委員会では、委員と理事者側が「集団交渉」のように向き合い、正副委員長が行司のように間に座って進行されます。

### 副委員長席から質問

環境委員会では、排出者責任のあり方、富山県の小型家電回収の取組、バイコロジーへの取組など、商工観光委員会では、労働委員会委員の報酬のあり方、観光業者への融資の問題、新技術開発の連携体制、国の補正予算の効果など、質問し確認しました。

また、公共交通対策特別委員会では、私が提案して「地域公共交通の維持・活性化のための予算確保と交通基本法の制定を求める意見書」を提出するよう決定しました。



南信濃で  
県政報告会  
11月23日、自治振興センターで県政報告会を行いました。森林整備や鳥獣対策など貴重なご意見やご要望をいただきました。

### 1年まとの 県政報告会

11月28日、シルクホテルにて1年まとの県政報告会を行い、200名の皆さんにご参加いただきました。

みなさまのご提言やご要望をお寄せ下さい。

### 長野県議会 改革・緑新

〒380-8570 長野市南長野字幅下692-2  
電話(026)232-0087 FAX(026)231-5592  
HP://www.kaikaku-ryokushin.com  
E-mail:kaikaku-ryokusin@grace.ocn.ne.jp

